

まえがき

この度、令和7年度実施の香川大学学生生活実態調査報告書が完成いたしました。本調査は、本学の学生がおかれている生活環境や日常生活における意識や考え方を明らかにするとともに、学生から本学に寄せられるニーズを把握し、学生の要望に寄り沿いながら、学生をサポートできるような大学内諸施策の基礎的資料として活用することを目的として実施しているものです。これまでも、本調査の結果を踏まえ、学生短期貸付金制度の創設をはじめとした支援策の整備が進められてきました。

そして本報告書は、学生生活の実情や学生の多様な考え・要望を把握することのできる貴重な資料であり、本学として学生生活のさらなる充実を図るための必要な支援の在り方や、施設・制度面での課題を検討するための重要な手がかりとなっています。

調査は、時代や背景の変化も踏まえて設問を追加・変更しながら、1986年（昭和61年）の開始以来、長年にわたり実施されており、今回で20回目を迎えました。調査方法については、学生の回答負担の軽減や集計作業の効率化を図るため、第11回以降、Webによる調査を行っています。前回調査までは、夜間主コース学生及び留学生を除く全学部学生の中から一定数を無作為に抽出し回答を依頼していましたが、今回の調査から回答者数の増加を図るため、夜間主コース学生及び留学生を除く全学部学生へ回答を依頼する方式へと変更しました。その結果、400名余りの学部学生から回答を得ることができました。

設問の構成については、経済状況などの基本的な事項に関する項目に加え、学業や課外活動をはじめとするキャンパスライフに関する項目を設け、近年の学生生活を取り巻く状況を反映した内容としました。具体的には、SNSの利用状況や、急速に普及している生成AIの利用状況など、幅広い内容を取り上げています。また、前回調査と同様、全設問について所属学部別・入学年度別の集計結果をグラフ化するとともに、一部の設問ではクロス集計を行い、各項目の傾向を視覚的に把握できるよう工夫しています。さらに、今回の調査から、本報告書の内容を簡潔にまとめたダイジェスト版を作成しました。今後も、学生を取り巻く環境の変化を踏まえ、学生生活全体の実態把握につながる調査となるよう、継続的な改善に努めてまいります。

調査にご協力くださった学生の皆さんには、深く感謝申し上げますとともに、今後も本学に対して忌憚のない意見や積極的な提案をお寄せいただくことを期待しています。

香川大学は、「地域に根ざした学生中心の大学」を目指しています。価値観が多様化して先の見えない時代といわれる中にも、この理念のもと、学生一人ひとりが安心して充実した学生生活を送り、これからの時代を生き抜く力を身につけ、地域社会・グローバル社会に貢献できる人材に育つよう、学生支援の一層の充実に取り組んでまいります。

最後に、本報告書の作成にあたり、多大なるご尽力を賜りました学生支援センター会議委員の皆様、ならびに関係する教職員の方々に、心より御礼申し上げます。

令和8年3月

副学長（学生支援・ダイバーシティ・特命担当）

平野 美紀

令和7年度学生支援センター会議委員

センター長	平野美紀
副センター長	小方朋子
バリアフリー支援室長	坂井聡
センター主担当教員	大沼泰枝
教育学部	篠原渉
教育学部	宮前淳子
法学部	石井一也
法学部	溝渕彰
経済学部	古川尚幸
経済学部	松井潤
医学部	金西賢治
医学部	山本美輪
創造工学部	小水内俊介
創造工学部	小宅由似
農学部	高田悟郎
農学部	古本敏夫
地域マネジメント研究科	吉澤康代
保健管理センター	野仲和真
教育・学生支援部	藤沢博伸

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

(1) 調査の目的	1
(2) 調査実施期間	1
(3) 調査の内容及び項目	1
(4) 調査の対象と方法	2
(5) 集計と報告書の作成	2

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について

1. 属性	3
2. 通学方法	6
3. 経済状況	11
(1) 住居の形態	11
(2) 住居を選んだ理由	12
(3) 部屋の間取り	14
(4) 1ヶ月の仕送り額	15
(5) 1ヶ月の支出額	16
(6) 1ヶ月の住居費	17
(7) 1ヶ月の食費	18
(8) 1ヶ月の奨学金	19
(9) 過去1年間のアルバイト経験	20
(10) 1ヶ月のアルバイト収入	21
(11) アルバイトの主な職種	22
(12) アルバイト収入の主な使途	23

II. キャンパスライフについて

1. 学 業	24
(1) 学部・学科の満足度	24
(2) 1日の勉強時間	25
(3) 授業以外の取り組み	26
(4) アルバイトに費やす時間	28
(5) アルバイトと学業の関係	29
(6) 教員との交流	31
(7) 学生窓口の対応	32
(8) バリアフリー支援室について	33
(9) ダイバーシティ推進室について	34

2. 課外活動	3 5
(1) サークルへの加入	3 5
(2) サークルに加入した理由	3 6
(3) サークル活動の感想	3 7
(4) サークル活動と学業の関係	3 8
(5) サークルに加入しない理由	3 9
3. 職業選択	4 0
(1) 卒業後の進路	4 0
(2) 職種を選ぶ基準	4 1
(3) 希望する分野	4 2
(4) 職業選定で重視すること	4 3
(5) 就職を希望する地域	4 5
(6) 就職活動で不安なこと	4 7
(7) 就職に関する大学への要望	4 8
4. 情報社会における安心・安全	4 9
(1) SNSの利用状況	4 9
(2) SNSの利用時間	5 0
(3) SNS上でのトラブル	5 1
(4) 生成AIについて	5 3
(5) 生成AIの主な用途	5 4
(6) 生成AIの活用について	5 6
(7) 闇バイトについて	5 7
5. 健康	6 2
(1) 保健管理センターの利用状況	6 2
(2) 身体の具合が悪くなったときの対処方法	6 4
(3) 飲酒の頻度	6 5
(4) 喫煙の頻度	6 6
(5) 1日の睡眠時間	6 7
(6) 1日の食事回数	6 8
(7) 精神的ストレス	6 9
(8) ストレスの要因	7 0
(9) 問題に直面したときの対処方法	7 1
(10) 学内の友人関係	7 3

第3章 自由記述欄への回答について	7 4
--------------------------	------------